

# 市民と市長の対話集会

## 第58回

### タウンミーティング記録集



平成24年8月18日(土曜日)

会場 市民センター

時間 午前10時～正午

東村山市

## ○開催内容

平成24年8月18日（土）午前10時、市民センターにおきまして「タウンミーティング」を開催しました。今回は夏休み特別企画として中高生を対象に行い、中高生20名、保護者・傍聴者17名の方にご参加いただき、ご意見をうかがいました。

## ●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち31枚を回収しました。

### ・アンケート回答者の住所地

恩多町	4人
その他市内	12人
市外	15人
合計	31人

### ・年齢

10代	20人
20代	1人
30代	0人
40代	1人
50代	0人
60代	1人
70代	1人
未記入	7人
合計	31人

### ・性別

男性	12人
女性	19人
合計	31人

## ○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成24年12月15日（土）	サンパルネ	午前10時～正午
平成25年1月19日（土）	富士見公民館	午前10時～正午

# タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は紙面の都合上、要旨を記録しております。

## 【市長あいさつ】

皆さんおはようございます。東村山市長の渡部でございます。今日は夏休みのせっかくの土曜日で、もしかすると「ご家族でどこかに行こうかな」あるいは「友達と遊びに行こうかな」というような計画を立てていた方もいらっしゃるのではないかなと思います。今日お見えの方は、それぞれの学校の生徒会の役員等の活動されている方が「こういうのがあるからどう？」ということで恐らく学校の先生方からお勧めいただいて、「あまり行きたくないけどちょっと行ってみようかな」というようなことで来ていただいたのではないかなと思います。今日は本当によろそお出でいただきました。心から感謝申し上げたいと思います。

実はこの『市民の皆さんと市長の対話集会』というのは、かれこれもう5年ほど続けさせていただいています。東村山市には本町や富士見町、恩多町とか13の町があるのですが、毎月一回、それぞれの町の公共施設に出かけて、そこにお住まいの市民の皆さんに自由にご参加いただいているいろいろなご意見をいただく場としています。そこでいただいたご意見は出来るだけ市政に反映するように努力するというのでやらせていただいているのですが、一昨年からは夏休み特別企画ということで、次の時代を担う市内の中学生や高校生の皆さんにもぜひ政治というか町のことに関心を持っていただく契機にしようということで、こういったタウンミーティングを年1回、開かせていただいています。別に普段行っているタウンミーティングに中学生や高校生が参加してはならないということはないのですが、大人の皆さんに混じって中学生や高校生が発言するというのはなかなか勇気がいりますよね。そんなことで、今日は中学生と高校生だけを対象というか発言いただくということで開かせていただいているので、「こんなことを聞いたら恥ずかしいかな」あるいは「こんなことを言ったら市長に失礼かな」なんてことは全然気にせず、日頃いろいろ疑問に思ったり「この町やこの学校をこうしたらもっと住み良くなるのではないか」や「もっといい勉強が出来るんじゃないか」など、思っていることがあれば、今日はどしどし発言をしていただいて、出来るだけ私も一生懸命それに対してお答えさせていただきたいと思っています。

今日は市内にある都立東村山西高と日体桜華の生徒さんにも来ていただいています。もしかするとお住まいは市内ではなくて市外の人でも今日は参加していると思いますが、市外にお住まいでも東村山の中で勉強していただいているので、そういった観点で「こういうことをして欲しい」というようなご意見があれば気兼ねなく言っていただきたいと思います。

## 【会場でのご意見】

\*以下は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

### ～みんなが楽しく学び、豊かな心を育むまち～ について

#### ◆中学生が勉強しやすい環境づくりを

(東村山第二中学校 Mさん)

今3年生で受験を控えて受験勉強をしているが、夏休みは秋津図書館で勉強している。奥のほうに16歳以上が使える勉強机があって、そこが一番集中できるかなと思ったがまだ15歳で使えない。他の机を使ったりすると、小さい子が騒いでいたりしてなかなか集中しづらい。公民館でも勉強してみようかなと思ったが、公民館は椅子と机の高さが同じくらいで勉強できるような環境ではなくて、実習的に勉強する場がなかなかないと思った。他にも久米川ふれあいセンターも利用するが、秋津のほうでもっと中学生が勉強しやすい環境というのをつくってもらえないでしょうか。

#### ◎ 市長回答 ◎

図書館の勉強机に年齢制限があって、16歳以上というのは恐らく高校生以上で使ってくださいということなんだと思います。ちょっとどういう経過があってそうなっているのか私もよくわかりませんが、恐らく年齢を下げるとやはり小さなお子さんだとどうしても騒がしくなったりとかということで一定年齢制限してしまっているんだと思います。確かに受験期ですので、別に16歳ではなくて15歳とか14歳くらいでもいいのかなと思いますので、教育委員会とも相談させていただきたいと思います。自宅で勉強するより、そういうところで勉強するほうが集中するということなのでしょう。

友達と勉強したり、家だと兄弟がうるさくてっていう人とか、友達でもけっこう図書館を使う人が多いです。

(東村山第二中学校 Mさん)

#### ◎ 市長回答 ◎

わかりました。今日は学校の先生方もいらっしゃるのですが、どういうやり方をしたらいいのか、私はあまりいい加減なことは言えないんですけども、例えば二中は、普通教室に空調が入っているので、学校によっては夏休み中に「自習で使っているよ」というようなことが出来るのではないかなと思うので、私も情報が少なく判断しづらいんですけども、皆さんが受験期で自宅では難しいということであれば集中して勉強できる環境を考える必要があるのかなと思います。実は私の子どもも下の子が昨年大学受験だったのですが、ほとんど自宅で勉強しないで、私の家は小平に近いので小平の図書館に行って勉強していたということがありました。そんなことで意外と自宅だと親や兄弟がいてかえって勉強しづらい部分もあるのかもしれないので、どういうかたちでそういった支援が出来るのか、教育委員会あるいは学校の先生方にもご意見をいただいて考えたいなと思います。ただMさんの受験期、この夏休み中には間に合わないかなと思うので、申し訳ないけど涼しくて静かに勉強できる場所を自分で探していただいて、私も今すぐには思いつかないんですけど、誰かいいところがあれば「ここなら出来るんじゃない」ということを教えてあげていただければと思いますし、ぜひ受験がんばっていただきたいと思います。

◎ 図書館より ◎

秋津図書館では限られたスペースをより快適に利用できるように、16歳以上に限定した席を8席、小中学生優先の席を31席（小型の椅子も含む）設けています。優先席は読書に親しんだり、資料をもとに勉強してもらおうところでもあります。また、優先席が満席やさわがしく感じる際には、特に年齢等を指定していない席（24席）をご利用くださるようお願いいたします。また騒いだり走ったりすることのないように館内での注意を心掛け、小中学生の皆さんをはじめ多くの人に気持ち良く使っていただけるように気を付けてまいります。

◎ 教育部 指導室より ◎

学校図書館や学習に適した教室等、生徒が自学自習できる場所の開放について、各学校に協力を求めていきます。

◆学校の校庭ネットとスプリンクラーの整備を (東村山第五中学校 Mさん)

7月まで野球部に所属していた。五中野球部では2年ほど前から毎日『朝清掃』という朝7時から30分～1時間くらい学校の周りの地域を清掃する活動で、通りがかった人にもしっかりと挨拶するという活動を続けてきた。その結果バスの中から挨拶してくれる人々や、今までは挨拶してもそのまま行ってしまふ人が多かったが、2年間続けてきて地域の方もだんだん反応してくれるようになってきて、地域の中の学校になりつつあったが、野球部の活動はバッティングやボールを使うのが多くて、その中で今ある五中のネットでは低くてボールがすぐに飛び出て近所の住宅に当たってしまったり、五中の校庭は砂が多いので乾いている時に風が吹くと洗濯物に砂埃がついてしまって、苦情が多い。五中の校庭にスプリンクラーを置いて欲しいのと、ネットをもう少し高くして欲しいが、出来るでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

朝清掃ご苦労様です。地域の方ともコミュニケーションがとれてきたということで、大変素晴らしいことだと思いますし、野球のほうもがんばっていただいている成果を出していただけるといいなと思います。ネットが低いというのは全体的に低いのでしょうか。バックネットだけでしょうか。

バックネットだけではなくて、フェンスが低いところがあって、そこからボールが飛び出てしまう。

(東村山第五中学校 Mさん)

◎ 市長回答 ◎

実は二中也周りが前はお茶畑だったところに住宅が建て込んで「ボールが出ちゃう」という苦情をいただいて、フェンスを少し上げさせていただく工事をしました。そこは状況を見てやらなければならないということであれば考えたいと思います。それからスプリンクラーのほうですが、砂埃の状態によって頻繁に生徒の皆さんのほうに苦情がくるのでしょうか。

学校側に苦情がくるそうです。

(東村山第五中学校 Mさん)

◎ 市長回答 ◎

学校側に苦情がくると「野球部はしばらく野球を止めて水を撒け」という指示は出るのでしょうか。

そうはならないが、他の練習にしてしまって、1つの練習が出来なくなったりという状態はあつたりします。  
(東村山第五中学校 Mさん)

◎ 市長回答 ◎

わかりました。どうしても周りに住宅が建て込んでくると周辺からいろいろと苦情が出てきて練習したりということが出来にくい状況なんだと思います。ちょっと学校の状況を詳しく聞かせていただいて、必要な手立てを講じていかなければならないと思いますが、フェンスの嵩上げにしてもスプリンクラーをつけるにしてもそれなりにお金が必要なので、すぐには対応が出来ませんが、状況を調べさせていただいて必要であれば対応したいなと思います。しばらくは周りに気を使いながらで、のびのびと野球が出来なくて可哀相だなというか気の毒に思いますが、もう少し我慢していただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

◎ 教育部 庶務課より ◎

現地調査の結果、フェンスについては校庭東側からボールが出るのが殆どで、特に東門部分は車両出入りが可能なようにフェンスが切れている為、そこから出ることが大半であるとの旨。東門の隙間から出ないように、隙間部分にネットを張り対応いたします。

スプリンクラーについては、校庭整備等も含め多額の予算が必要となる為、現時点では散水栓がボール側に設置してあるので、既存設備の有効活用をお願いしたい。

◆学校施設の改修を

(東村山第二中学校 Sさん)

二中の設備にガタがきていて、今年、生徒会室の上がトイレだが、そこから便器が落ちてきた。それと臭いがあったり、トイレから水が垂れてきたりというものもある。それを先生方に報告したが、まだ対応していないので、何とかしてもらえないでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

二中の生徒会室って私はどこにあるのか場所がわからないのですが、どの辺にあるのでしょうか。

北校舎の二階です。  
(東村山第二中学校 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

北校舎の二階で、真上がトイレになっているのでしょうか。

真上と真下がトイレです。  
(東村山第二中学校 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

便器が落ちてきたというのはどういうことでしょうか。ちょっとよくわからないのですが…

普通に天井から落ちてきて…  
(東村山第二中学校 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

天井が抜けたということなのでしょうか。

そういうことです。

(東村山第二中学校 Sさん)

◎ 市長回答 ◎

それはちょっと危険な状態ですね。危険な状態だということになるとちょっとまずいので、今日、教育部長も会場にいらっしゃいますし、調べてせめて危険じゃない状態にはしないとならないかなと思います。あと恐らく二中の生徒会室だけでなく、学校全体で全ての学校の耐震化が今年度で終わりますし、普通教室については空調設置工事も終わるのですが、トイレだとかいろいろな所がもうかなりポロポロになってきている実情は私なりには承知しているつもりで、耐震がひと段落したら今度は校舎のそういった、例えば外壁のコンクリート片が落ちこちてきたりする学校も実はあってですね、危険な状態になっているところがあります。そういうところは直していかないとはいけませんし、結構トイレが使えなくなったり、悪臭が酷いというような学校もありますので、それらの状況を見ながら優先順位をつけて整備を進めていきたいと思っています。その一環として生徒会室がどんな状態なのか確認して、天井が抜けて上から便器が落ちてくるというのはちょっと異常なくらいなので、そこは早急に調べてどのような対応が取れるのか考えたいと思いますので、よろしくお願いします。ただ恐らく学校の先生から教育委員会のほうにも話が来ていると思いますので、そこをもう一回確認します。

◎ 教育部 庶務課より ◎

学校へ再度確認の結果、便器落下の事実はありませんでした。天井ボードの落下は給水管系統からの漏水によるもので、天井内部を確認した所、現在漏水の状況は見られません。業者が漏れ等を点検した後に、天井を復旧いたしました。

◆部活動楽器を毎年購入して欲しい

(東村山第四中学校 Yさん)

今年度ドラムセットを購入していただき、ありがとうございました。先日行なわれた東京都中学校吹奏楽コンクールでは購入していただいた楽器を使用し、A組で金賞を受賞することができました。市長をはじめ教育委員会の皆様のご理解とご声援の結果だと感謝している。私たち吹奏学部はコンクールや学校行事を含め、年間20回のステージを行なっている。特に地域行事への参加では地域の皆様から多くのご声援をいただいている大変感謝している。今後も出来る限り地域の行事に参加していき、感謝の気持ちと共に演奏を続けていきたいと思っている。ところで、私たちが演奏している学校備品の楽器の多くは購入から10年以上経過しており、古いものは30年近くなる楽器も多数ある。そのため部員の多くは個人持ち楽器を購入せざるを得ない状況となっていて、保護者にはかなりの負担となっているのが現状です。毎年一つずつでも構わないので、新しい楽器の購入が出来るようにお願いします。

◎ 市長回答 ◎

金賞受賞おめでとうございます。私はその時はお邪魔出来なかったのですが、毎年3月、定期演奏会を行なっている時に参加させていただいて、四中吹奏楽部の皆さん非常にかんがって素晴らしい演奏をされているなと感心しております。冒頭の挨拶でも申し上げましたが、昨年、皆さん方あるいは皆さんの先輩方だと思いますが、四中の吹奏楽部の方や三中の何人かの方々も昨年のこの会にお見え

になって「学校の部活の備品がボロボロで、しかしながらなかなか新しいものを買っていただけないんで何とかしてください」というお話をいただきました。今まで部活の備品の予算というのは基本的に市のほうから各学校にお渡ししている学校運営費の予算の中で購入していただくようにしていただいていたのですが、全体の予算自体がタイトな中で、先生方としても必要性はわかっているにもかかわらず、授業で使う備品関係のほうを優先して購入されていらっしゃるわけです。本来は学校にお渡しする運営費をもっと膨らませられれば一番いいのですが、なかなか今、市のほうもそういう状況にないので、昨年そういうお話を聞いて緊急的に部活動の支援費という新しい予算項目をつくりまして、わずかですが部活で使う備品関係の購入に充てていただく予算を学校運営費と別枠で予算取りをするようにさせていただきました。中学校だけでも市内に7つありますし、部活も吹奏楽部だけでなくいろんな部活が四中にもあろうかと思えますので、必ず毎年吹奏楽部の備品購入、楽器が購入出来るかどうかはわかりませんが、我々としても出来るだけ今後、生徒の皆さんがスポーツや音楽、美術あるいは演劇とかそういった様々な文化活動にがんばっておられるところについては、何とか少しでもそういった備品に対して、市としても手当てをしていきたいと考えていますので、今すぐ「来年から1つずつ楽器が新しく購入出来るようになります」というところまでお約束は出来ませんが、なんとかそういうかたちで市のほうも努力し始めたということでぜひご理解いただきたいと思えますし、これからは努力をしていきたいと思えます。昨年、四中の吹奏楽部のほうからは一番優先順位が高いということでドラムセットを今年度購入させていただいて、この間の大会では活用いただいたということなんです。それ以外でもバレーボールやテニスのネットがかなりボロボロになってしまっているという学校があって、そこについては今年購入いただいているということで、少しずつですけれども皆さんの声を聞きながら対応しているということでご理解いただけるとありがたいと思えますので、よろしくお願ひします。

◎ 学務課より ◎

平成24年度につきましては、部活動支援事業費として予算化を行い、部活動備品の整備をさせていただきました。

引き続き、平成25年度についても予算を計上し、予算化できた場合には、教育委員会で検討・協議した上、部活動備品を整備していきたいと考えております。

◆素振り練習や運動のできる場を

(東村山第五中学校 Tさん)

7月まで五中野球部に所属して練習とかががんばっていた。家で素振りなんかをする時に、うちはマンションなので近くで振っているが、いろいろな人から「危ない」とか注意を受けたりする。公園などでも振ろうとしているが、公園には「野球禁止」とか「バットを振るな」とか書かれている看板があるので、そういうのをもうちょっとやさしくというか、野球は広いスペースでないと出来ないが、素振りくらいは出来るようなスペースを確保出来ないでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

市内の児童遊園を含めて公園はあまり広くないものですから、しかも学校に入る前の小さなお子さんが使うのを想定してというかそちらを優先させていただいているので、皆さんぐらいの世代の方に



は大変恐縮なんですけどボールゲーム、野球だとかサッカーなんかは全て禁止させていただいているのが実情です。ただ素振りまでやっちゃいけないっていうふうになっていたかな…私はそこは記憶にないんですが、看板とかに「素振りもしちゃダメ」って書いてあるのでしょうか。

「バットを振るな」とかいろいろと書いてあったりする。（東村山第五中学校 Tさん）

◎ 市長回答 ◎

そうですね。野球少年にとっては本当に住みづらい町なんだと今、お話を聞いているとつくづく思うんですが、今すぐどうしたらいいかということが思いつかないんですが、例えば時間を決めて小さいお子さんがいない時間帯なら素振りをOKにするとかというようなことは考えられるのですが、担当職員とも相談させていただいて、身近なところでボールは使わないでせめて素振りの練習を、それは野球だけでなく例えばテニスをする人がラケットを素振りするというようなこともあるんだろうと思うんですが、中学生くらいの皆さんがちょっとした練習が出来るような場所をどのように確保していくかというのは、結構大きな課題かなと思いますので、ここではちょっと即答が出来ないので、もう少しお時間をいただいて考えさせていただければと思います。7月でもう引退してしまうということなので、これから受験勉強でがんばってください。

---

---

## ～みんなが快適に暮らせる、活力と魅力にあふれたまち～ について

---

---

### ◆東村山市の税金について

（日体桜華高等学校 Uさん）

今、増税が話題になっているが、東村山市でも増税の予定はありますか。

◎ 市長回答 ◎

このあいだ国会を通過した税と社会保障の一体改革というのは、いわゆる消費税です。この消費税は国税で国の税金になるもので、国が徴収して一部は、各都道府県あるいは市町村に財源として回ってくる部分もありますが、このあいだ国会で通ったのは直接的には市町村民税とかではなくて国税です。市の財源であります市税というのは、1つは皆さんのお父さんやお母さんの所得にかかる部分の市民税というのと、それから土地や建物の固定資産というものにかかる固定資産税、あと課税客体としては、ほぼ固定資産税と同じなんですけど、都市計画税という都市計画にかかる税金とか、いくつか税目があって、基本的には日本全国の市町村というのは国が決めた地方税の標準税率を適用している自治体がほとんどです。国の制度が大きく変わらない限り、現状では市町村民税を今上げるというような議論は市の中ではされていません。ただ家だとか土地にかかる都市計画税という税金があるのですが、これについて東村山市は今まで独自に0.3%の減税を行ってきたのですが、これからいろいろ都市計画事業をやらなければいけないということで、今年4月から0.1%の減税にするということで、結果として0.2%増税になるかたちになっています。ただ土地とか建物というのは税率が上がってもその評価額というのが下がってしまうと、実は税金自体は下がってしまうという関係があるんです。評価額というのは例えば土地があったとして、皆さんが生まれる前のバブルの時代は1坪100万円ぐらいの土地だったのが今では1坪30万円ぐらいになってしまっているというようなことがあって、土地や建物の値段が下がると税率が上がっても実質支払う税金は減ってしまうということ

があります。なので今回、都市計画税の減税の税率を下げた結果としては増税になっているんですけども、評価額が下がってしまっているために、ほとんどの市民の皆さんが税率は上がりましたけれども、納めていただく納税額自体は下がっているという現象が生じています。市としては、いただく税額がかなり下がりそうなので、これから西武鉄道の連続立体交差事業だとか大きな事業をやっているかなければならぬので、その財源を確保するために、あまりいきなり税額が落ちてしまうと仕事が出来なくなってしまうということから、減税しなくても実際には土地の値段が下がって税額が下がるので、今まで市独自で減税していた部分の幅を少し狭めさせていただいたということがあります。皆さんにとっても税金は安ければ安いほどいいんだと思うんですけども、どうしても公共的なサービスを提供していくうえでは、一定の原資となるお金がないと出来ません。Uさんが通っていらっしゃる学校は私立の学校なので、全て税金でやっているわけではなくて皆さんのお父さんやお母さんが働いて納めた学費がかなり占めているわけですけども、私学でも国からのいろいろな補助金が入って学校が成り立っているということが現実にあります。それから公立の中学校の場合はほぼ全額に近い部分が税金で運営されているので、学校が成り立つうえでも税金というのは必要な部分があります。日本はこれから少子高齢化で働いて税金を納める世代の人が少なくなって、どうしても高齢者のかたが増えていきます。そういう時に誰が負担して誰がどのようなサービスを受けていくのかということについて、国民的に議論しておおよその合意をつくっておかないと、自分たちだけ税金を払わされて割を食っているというふうに恐らく若い人達はこれから思うだろうと思うので、そこをきちんと整理していかないと国全体が持たなくなるかなというふうに思っています。

#### ◎ 課税課より ◎

税金には、国に納める国税と都や区市町村に納める地方税があり、先の国会で平成26年4月から税率が8%になることが決まった消費税は国税です。

地方税である市の税金は、地方税法という国が定めた法律に準拠して市の条例で定めており、個人や法人の市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、市たばこ税といった税目があります。

地方税法のなかで国の制度が変わらなければ、現在のところ、いずれの税目についても増税の予定はありません。

### ◆市民納涼の夕べについて

(東村山第二中学校 Eさん)

東村山駅の東口の夏の盆踊りのようなお祭りがここ最近やっていない。今年もやらないと聞いたが、その詳しい原因がよくわからなかったのと、これからどうなるのかわからないので教えて欲しい。

#### ◎ 市長回答 ◎

例年東村山駅の東口で駅前ロータリーを使って盆踊り大会が開催されて、恐らく子供の時に楽しみにされていたのだと思います。主催していたのは市ではなくて、東村山市体育協会というスポーツ関係の団体の皆さんでやっていただいていたのですが、実は今年を入れるともう4年やっていません。最初の2年間は、実は今もいますがロータリーの池にカルガモが営巣して、ここ数年あそこで子育てをするようになってしまって、あの上にもいつも体協さんの盆踊り大会はやぐらを組むのですが、子育て中のカモに配慮されて2年間、体協さんはやむを得ず中止されました。昨年は開催日をカルガモの

子育てが終わる時期に設定されたんですけれども、昨年3月に震災があって、その後もしばらく電力の供給が滞って、震災直後はこの辺でも計画停電というのがありました。夏場も電力供給がどうなるかわからないということで、去年は電力の問題で体協さんとしては盆踊りを中止せざるを得なかったという経過があります。今年について言いますと3年間お休みしてしまったので、道路を使ってイベントをする時には、道路というかロータリーの公共部分というのは市の土地ではあるんですけれども、交通を監督・管理しているのは警察署になりますので、ああいう道路上でイベントをする時には必ず警察の許可を得なければならぬんですけれども、今年はいろいろな経過があって警察の許可を得ることが出来なかったというふうに報告を受けています。市としては長年やってきた行事なので、ここ3年ほどは、さっき申し上げたような理由で滞ってはいたんですけれども、体協さんとしてはなんとかやりたいということだったのでぜひ実施していただきたかったのですが、警察との協議が整わず時期を逸してしまって今年は中止されたということで、私も大変残念に思っています。来年度以降についてはまだ体協さんのほうで方針が出ていません。来年度以降、駅前で行うのかあるいは場所を変えてどこかでやるのか等、体協の内部でいろいろ検討されて方向性が出てくると思います。ただあれだけ長年行なわれてきた東村山市の夏の風物詩の1つなので、かたちはどうであれぜひ来年度は再開していただきたいなと私も市役所も考えていますので、体協さんが開催するということについてはぜひ全面的に協力して、来年は皆さんがゆかたを着て盆踊りを楽しめるように役所としても協力したいなと思っております。

◎ 市民スポーツ課より ◎

盆踊り大会（納涼の夕べ）は公益社団法人東村山市体育協会の主催により開催されておりますが、この4年間は中止となっております。カルガモの営巣及び警察の使用許可等と併せ、体育協会と協議、協力をしていきたいと考えております。

なお、本事業につきましては、スポーツレクリエーション事業の一環として開催しており、今年度については、体育協会が代替事業を企画しております。

◆車道に自転車レーンを

（東村山西高等学校 Sさん）

東村山駅から久米川駅の間で車の往来が激しい道がある。車の往来も激しいが、歩行者の数も多い。歩行者の数が多いのに歩道が狭いというところがけっこうあるので、車道に自転車用のスペースをつくるというような計画はありますか。

◎ 市長回答 ◎

具体的にはどこの道路のことを言っているのでしょうか。府中街道のことでしょうか。

郵便局の前のところ。

（東村山西高等学校 Sさん）

◎ 市長回答 ◎

府中街道ですね。府中街道は東京都の道路なんですけど、今ちょうど小平市の青梅街道の小川町交差点のところから新青梅街道と交差する野口橋交差点までは道路が改良されて、それに伴って歩道も若干広くなったのですが、新青梅街道から北についてはまだ全く手付かずの状態です。道路の幅が広がって

いまして、ご指摘のとおり歩道も非常に狭いままになっています。それなりに幹線道路ですから、交通量も多いですし、歩行者や自転車の通行も多いんです。現状のままで例えば新青梅街道から北側の府中街道に自転車レーンを設けるといことは、車道の幅から考えると現実的には出来ないのではないかなと思います。今、東京都は府中街道の野口橋交差点から北側について、拡幅整備する計画を立てて、今年、説明会を1回開いています。実はN T Tのところの踏切がボトルネックになっていて、あそこで渋滞を起こすんですね。今、東京都では西武線を高架にして踏み切りを上げていくということで、ちょうど小平市でプリヂストンと松見病院の間のところで西武線が単独立体で上がりましたけれども、今度ああいうかたちで久米川駅から新青梅街道のガード下を潜ってから持ち上げていて、化成小学校のところまでずっと高架にする計画があります。これは府中街道の整備と併せて行なっていく予定になっています。この時に道路幅が広がり、歩道が広がって、自転車レーンを設けるかどうかはまた今後の協議になるのかなと思いますけれども、幅員が広がりますから、自転車が通れるスペースは広がるのかなと思いますので、今後、東京都あるいは警察署とも協議して安全対策を進めていきたいなと思います。小平の場合は小平駅の南口のあかしあ通りに一部自転車専用レーンを設けられて安全対策を進められていますので、周辺市としてもどのようなかたちでこれから推移していくのか見守りながら、お隣の市が進めておられる事業ですので、いい点あるいは何か課題があればそういうことをお聞きしながら当市でも考えていきたいなと思います。

◎ 道路管理課より ◎

現状の幅員では自転車専用レーンの設置は困難と考えております。なお、府中街道については、現在拡幅に向け測量説明会后、測量に入っているところです。

◎ 交通課より ◎

府中街道に限らず市内のほとんどの歩道では、交通環境や道路構造を考慮し、警察による交通規制によって自転車の通行が認められています。

歩道内に自転車通行帯を設けることはできませんが、「歩道は歩行者が優先」であることを十分に理解して、安全な通行に心がけましょう。

## ◆中央公園内の通路整備を

(東村山西高等学校 Sさん)

東村山中央公園だが、脅かされているのは不審者の影だけじゃなくて、路面の状況が非常に悪い。場所柄だろうが、けっこう高低差があるみたいで、水たまりが大量に出てしまう。大きな芝生の外周の通路は、一定量の雨が降ると半分以上が水に浸かっちゃう状況で、歩行者はもちろん歩けないし、自転車もなかなか厳しい状況。また北西の方角の芝生と反対の道路側だが、通路がタイル状になっているので、すごく滑りやすくてスリップの事件・事故が激しく多発するような状況で、特に梅雨の時期なんかは酷かった。それだけじゃなくて、小学校が近くにあって通学路の一部になっているみたいで、高校生と小学生がすれ違う場所で、しかもタイル地ですごく危なくて、自転車も多く通るので、もし転んで近くの子供も達にぶつかってしまうような状況になったら危ないと思うので、タイル地のところを滑りにくくするような対策が出来たらお願いしたいと思うが、どうお考えでしょうか。

◎ 市長回答 ◎

そうですか。中央公園は私も割りと頻繁に行くのですが、確かにタイル状になっているところは滑りますね。ご指摘の通りだと思います。水たまりはあまり実感としてそんなに多いのかなという感じが私はするのですが、ちょっと確認したいと思います。いずれにしてもあれは都立公園なので、東京都の管轄になるので東京都に「こういう声があります」ということで是正を求めるといようなことをしたいと思っています。ただあそこも、今、東京都が直に管理をしているのではなくて、東京都が民間の団体に管理委託をお願いされている状態ですので、逆に事務所のほうに言うよりは、直接上部の東京都のほうに我々のほうから働きかけたほうがいいのかとそんなふうにも思いますので、ちょっと事務所の方々とも協議をさせていただきたいと思っています。

◆都市計画税の使い道について

(東村山第二中学校 Mさん)

道の整備のことだが、二中周辺でも道がガタガタしていて府中街道のところとか自転車が通りづらいが、車道に出ても危ないということがある。そこだけじゃなくて、自転車がパンクした時に自転車屋さん「東村山は道が悪いから」と言われてしまった。税の話でもあったが、都市計画税というのは道を整備するとかそういうのに充てるのか。あと例えば公民館とかをもうちょっときれいにするとか、緑に使うとか、何に使うのか良く分からないので教えてください。

◎ 市長回答 ◎

道が悪いというのは確かに広くて歩道と車道がきちんと分離されているような道路が東村山市は残念ながら周辺と比べても少ないのが事実かなと思います。一つはもう一つの質問にも絡むんですが、道路にはいくつかの種類がありまして、周りの市でわりと歩道がゆったり取れて車道も広い道路というのは、ほとんどが『都市計画道路』と言われている道路です。都市計画道路を造るような場合には『都市計画税』というものを使うことが出来るんですけど、その都市計画道路の整備率が残念ながら東村山市は東京の多摩地域の中では一番よろしくないという状況がありまして、どうしても生活道路のほうに車が流入する傾向があります。例えば府中街道は都道で幹線道路ではあるんですが、いつもけっこう渋滞しているので二中の脇の通り道が抜け道のようになって、皆さんが通学したり下校時も梅岩寺の脇のほうから車が入って久米川辻の方に抜けたりとか逆のコースを取ったりするような車が非常に多いのかなと思います。どうしても通り抜けをする車が多いわけですので、それなりに広域的な道路ネットワークを整備していかないと、生活道路に通過車両が流入してきて危険な状態になるというふうに思っていますので、私としては何とか少し都市計画道路の整備を進めていきたいというふうに考えておりまして、都市計画道路も東京都でやる部分と市でやっていく部分があります。府中街道は都道であります。東村山市で一番の幹線道路というのが、一つは新青梅街道で、これも都道です。これは新宿方面から青梅のほうに繋がっているかなり広域的な幹線道路の一つで、東村山市にとっても重要な道路になります。それともう一つは府中街道です。これは東京多摩地域を南北に結ぶ一つの幹線道路で、所沢から東村山を抜けて、小平、国分寺、それから府中を抜けて、さらには川崎のほうまで繋がっている動脈の一つなんですけども、こちらのほうについても東京都が新青梅街道から北側のルートについて整備を開始する状況に今なっています。それと今、市で進めているのが、東村山駅からスポーツセンターのところで行き止まりになっている通称『さくら通り』とっていますが、こ

れが都市計画道路の3・4・27号線と言われている道路で、これが最終的に秋津駅のほうまで結ばれる道路なんです。今スポーツセンターで止まっているところを久米川町一丁目の野行通りまでとにかく抜こうということで地権者の方と交渉させていただいて、ほぼ今7割弱の用地買収が済みました。道路をきちんと整備していくというのはお金もかかりますし、あと地権者の方から土地を買っていかなくてはならないため相手の方のご理解がどうしても必要になるので、新しい道路を造るというのは非常にお金と時間がかかります。ただここについては平成27年度までにはスポーツセンターのところから野行通りまで抜くように今進めているという状況で、こうした道路を造る時には都市計画税というのが充てられます。それと東京都は、府中街道の新青梅街道から北側の部分の整備と併せて、ボトルネックになっている踏切を全部で5ヶ所除却するために東村山駅周辺の線路を上げる、高架化するというこれも非常にお金もかかるし時間もかかる事業ですが始めています。今年の秋には東京都で都市計画決定という手続きをして、来年度以降こちらについても府中街道の整備と併せて事業化されていくということになるので、これからMさんの世代の方々が大人になる頃にはこの辺もだいぶ変わって、今よりも安全で歩きやすい、あるいは車も渋滞しないで進むようになろうかと思えます。

それともう一つは、所沢の飯能所沢線という今、飯能のほうから所沢の松ヶ丘住宅のところまで延びてきている道路があるんですが、実は昨年それが久米川町5丁目、梅岩寺の裏手あたりで府中街道や所沢街道に接続する都市計画決定もされまして、東村山のほうから所沢を抜けて飯能や秩父方面等へも繋がってきますし、将来的にはこれらも整備されてくると思えます。

もう一つは所沢街道のバイパスとして東京都が進めているのが都市計画道路3・4・11号線と言って『新所沢街道』と言っていますが、これが青葉町の多摩北部医療センターの脇のところに新しい道路がつい先日出ました。こちらで東京都の事業なんです。これがだんだん北に向かって事業を進めていくというふうにしています。これは東久留米の市場の前から、東久留米はこの道路についてほしい9割くらい出来上がっていて、さらにはこれが西東京まで繋がっていく道路ということで今出来上がっています。そういったことで東京都の力を借りながら、すぐ来年とか再来年に出来るわけではないのですが、市としてもいくつかの広域的な道路ネットワークの整備を5年10年という時間はかかりますけれども進めていくと。こうしたことをすることによって、少しずつですけれども今、生活道路に流入しているような通過車両を減らすことが出来るだろうと思っています。それと併せてさっきご指摘あった生活道路の傷みがかなり激しい、ボコボコになっちゃって歩くのも厳しい、怪我まではしないまでも自転車がパンクするような状態の傷んだ道路については、全て充てられる税金としては、皆さんのお父さんやお母さんが働いて納めていただく市民税だとか固定資産税だとかいう税目として、『一般財源』と言われるものなんです。『都市計画税』というのは『目的税』と言われていて、基本的には都市計画事業にしか使えない税なので、なんにでも使えるのは皆さんからいただく税金なんです。その税金を充てて傷んだ道路だとか、壊れた公共施設の整備を進めていく。それから学校についていうと大規模改修とか今行なっている耐震化とかだと国や東京都の補助金がいただけるんですけども、軽微な維持補修、例えば生徒会室の天井が壊れて便器が落ちてきたというような時に対応する場合には、『一般財源』皆さんからいただく税金でしか対応が出来ないので、やはりいろんなことをしていくにはどうしても皆さんからいただく税の総体が増えていかないと、あっちもこっちもというのはなかなか厳しいのが実情です。例えば楽器を備品として買うのも、実は皆さんのお父さんやお母さんが働いて市役所に納めていただいた税金でしか賄えないので、そういった税の総体を増やしていかないとならないんですけれど、今、非常に景気が悪い中で、市民の皆さんの所得も落ちちゃって税収が非常に伸び悩んでいるのが実情です。市としては皆さんのような高校生、中学生あるい

は小さなお子さんを含めて市民から数多くのご要望をいただくわけですが、その中で優先順位をある程度考えながら支出をさせていただかなければならないところがあります。そうは言っても基本的には命に関わるような部分、危険な状態で生徒会活動が出来ないというのはまずいので、命に関わるようなところについては出来るだけ優先して予算措置をしていきたいと考えています。今年の春先に京都の亀岡市で通学時のお子さんの列に車が突っ込んで大勢亡くなられたという事件がありましたけど、出来るだけ通学路の安全対策ということも我々としては優先度の高い事業だと考えていますので、なかなかすぐに道路を広げたりというようなことは出来ないのですけれども、極力その他の対策を講じながら皆さんが安心して通学出来るようにしていきたいと考えています。ちょっと長くなりましたけど、道路事業というのはそういうかたちで行なっているということです。

---

---

## ～みんなでつくる安全・安心とうるおいを実感できるまち～ について

---

---

### ◆東村山市の節電対策について

(日体桜華高等学校 Eさん)

今、節電がすごく話題になっているが、東村山市で行なっている節電対策はありますか。

#### ◎ 市長回答 ◎

ありがとうございます。昨年の震災以降、原発を再稼動するかどうかということである意味国論を二分して議論されていますが、関西電力の大飯原発は再稼動になりました。東京電力管内は現状、原発は全て止まっている状態で、今、東電が供給している電気は一部水力発電もありますが、ほとんどが火力発電によるものです。昨年、東京電力は全て原発が止まって、実は火力発電所もかなりの被害を受けた影響で、電力供給ピーク時に比べると15%減ぐらいでしか供給出来ないということで、昨年度については政府が法に基づいて15%削減をなささいということでかなり強い指導がありまして、東村山市といたしましてもいろいろな取り組みをさせていただきました。例えば夏の冷房については28℃設定にするとか、市役所のエレベーターを1基は完全に止めて1基だけ動かすとか、あるいは電気を間引きして照明が少し薄暗くなくなってしまったりとか、あと市役所の職員が使っていた冷蔵庫は去年全て停止させていただいたり、市民の方も購入できますけれども主に職員向けの自動販売機を止めたりということで取り組ませていただきました。それから市民の皆さん向けにも『節電教室』ということで、東電の方にきていただいてこまめに電気を消していただくとか、使っていないテレビのコンセントを抜いていただくとか、いろいろなことを市民の皆さんにもお願いして、昨年、公共施設は全て15%以上、20%近く節電することが出来ました。

今年、東京電力管内は火力発電がほぼ元の水準に戻ったということもあって、政府のほうから法に基づいて削減しなさいということではありませんけれども、東村山市としましても昨年同様に22年度と比べて15%削減出来るように、昨年ほど厳しくはやっていませんが引き続き同じようにさせていただいています。それから市民の皆さんにも節電を呼びかけさせていただいているというような状態です。ただ日本人ってやっぱりすごいと思うのは、節電ということになると皆さんが協力してきちんと節電されるので、昨年の夏の当初は、また計画停電をしなければならないのではないかということを言われていましたけれども、計画停電することなく電力危機を乗り切っていましたので、今

後、原発の問題もありますけれども、いずれにしてもCO2の削減等も考えていくと皆であまり電気に頼らないライフスタイルとか社会システムをつくっていくということが必要なのではないかなと考えています。

## ◆災害時に公衆電話の活用を

(日体桜華高等学校 Sさん)

携帯電話の普及に伴い、公衆電話が減っているが、災害時に携帯電話が非常に繋がりにくいのが現状。市内に公衆電話はどのぐらい設置されているのでしょうか。

### ◎ 市長回答 ◎

東村山市内には公衆電話が全部で137ヶ所設置されています。当然、携帯電話の普及によって公衆電話はなかなか採算が取れないので、NTTとしては民間企業になったということもあって、あまり採算の取れないところは公衆電話を減らしているというのが現状としてあるようですが、お聞きしますとだいたい500mメッシュに1ヶ所くらいはなんとか残していきたいというようなお考えもあるようです。ただ災害用として増設するという点については、NTTさんとしては今のところお考えはないようです。市としましてもお願いをして設置するという点よりも、今、災害時の情報伝達ということについて言うと、これは行政から市民の皆さまにお知らせするという点になりますが、防災行政無線というのがありますが、これは屋外で情報を音声で発信するわけですけど、今これをもう少し聞きやすくするのに防災行政無線のデジタル化を進めているのと、エリアメールというのがあって、先日NTTと契約したんですが、そのエリアにいるとNTTの機器でありますとこちらでメールを発信すると全て受信出来るような仕組みがありまして、そういったことをやっています。auやソフトバンクについても同じようなサービスがあるそうなので、エリアメールのようなサービスをこれから結んでいきたいと思っています。

ただ今のご質問は恐らく行政から皆さんへというよりは、皆さん同士、例えばご家族と連絡が取れない場合にどうするかというお話なんだと思うのですが、とりあえず市としてお勧めしているのは災害用伝言ダイヤル(171)をご活用いただくようにご紹介させていただいているのと、災害が起きてすぐは難しいですけども、災害時の固定電話の設置というのをNTTさんのほうでやっただくことになっています。これは市内の小中学校が避難所になりますので、避難所には災害用の電話を設置していただくということでNTTさんとお話を進めているところであります。

そうは言ってもこのあいだの震災時は、私も自分の家族と全然連絡が取れなくて、どこで何をやっているのかと本当に不安でした。下の子どもがまだ高校生だったのですが、結局高校に泊まって帰って来なかったのですが、ようやく翌日12日の朝ぐらいになって連絡が取れるというような状態だったので、やはり緊急時に家族同士がどうやって連絡を取れるようにするかというのはこれから大きな課題ではあるなと思いますけれども、行政的にはなかなか厳しいなというような状況です。さっき申し上げたようにNTTの公衆電話については、これ以上増やしていくというのは難しいので、災害用伝言ダイヤルの活用や、あるいは「もし何かあった場合にはどうするか」ということを事前にご家族同士でお話し合いをしていただくということが必要なのではないかなと考えています。あまりいいお答えになりませんが、市としてはそのような取り組みをしているということでよろしくお願ひしたいと思います。



## ◆東村山市の被災地支援について

(東村山第四中学校 Sさん)

東日本大震災から1年以上が経過したと思うが、東日本の復興のために東村山が行なっていることはありますか。

### ◎ 市長回答 ◎

今現在、市として直接的に被災地支援ということで継続的に行なっていることはありません。昨年は市役所でも募金活動をさせていただいたり、市内のいろいろな団体の方に募金していただいたりしたので、それを被災地のほうにお届けしたり、職員を被災地のほうに派遣をするということをやってきました。ただ今のところは職員派遣も中断してしまっていて、復興の段階に応じて求められる人材とか期間が違ってきています。発災直後は「誰でもいいから、あるいは短期でいいので派遣して欲しい」ということがあったのですが、徐々に復旧してきますと、例えば「土木技術の知識や経験を有する職員を半年とか1年に亘って派遣してほしい」や「こういう技能を有する人材を一定期間派遣して欲しい」ということになってきてしまっていて、市役所も今手一杯で仕事している関係があって、なかなか派遣出来ない状況になってしまっています。ただ被災地派遣は我々も継続して取り組んでいかななくてはならない大きな課題だと思っておりますので、市役所を定年退職した方々に「被災地のほうに行ってもらえないか」と呼びかけるという取り組みをし始めています。そういったことが一つ。

それともう一つは、やはり被災地の産業を立て直すために、向こうで出来たものをこちらで販売して多くの人に買っていただくというような取り組みももう一方で必要なこととなります。昨年は菖蒲まつりや産業まつり等でいろんなルートを通じて被災地の物品を販売させていただきました。今年は菖蒲まつりではそういったことは行なっていませんが、恐らくまた産業まつり等で被災地のほうと連絡を取り合って、向こうの品物等を販売させていただくというようなことをしていきたいと考えています。それとあと東村山市に被災地三県から避難されている方が60名くらいだったと思いますが、福島あるいは宮城、岩手の方がお住まいになっています。昨年度はいろいろな情報提供をさせていただくと共に、直接的な被災地支援ではありませんが下水道料金などの公共料金を一部免除するという事で被災者の方の支援をさせていただいたり、あと乗り捨てられた自転車を市で保管させていただいているのですが、そういったものを整備して被災地から避難されていて必要な方にはお渡ししたり、あるいは被災地のほうに自転車をお届けするというような取り組みをさせていただいています。今後も被災地から東村山市に避難されている方が地域で孤立しないように、いろんなルートを通じてもともと東村山市内にお住まいの方と交流を図りながら市としても生活再建に向けてのお手伝いを進めていきたいと考えています。今まで取り組んできたこと、これから取り組むこととしてはそんなところかなと思います。なにか他にいいご意見があれば、ご提案いただければやっていきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

### ◎ 産業振興課より ◎

被災地支援の取り組みということですが、昨年の市民産業まつりにおいて被災地支援コーナーを設け、福島県、福島県伊達市、栃木県小山市の参加をいただき各地物産販売や義援金箱の設置、開会式で福島県の観光PRを行ったり、市農業委員会が福島県伊達市を視察訪問するなどの支援を行いました。今年の市民産業まつりにおいても被災地支援を考えております。

## ◆外来種による生態系への影響は

(日体桜華高等学校 Sさん)

東村山市内で外来種の動物が捨てられたために、生態系が変わったことはありますか。

◎ 市長回答 ◎

外来種の生物が捨てられて生態系が変わったことがあるかということなのですが、大きく生態系が変わったという事例はありませんけれども、例えば市内にいくつか河川があって、そこにブラックバス・オオクチバスが捨てられて、そこにいる在来種のフナやドジョウが食べられちゃうという事例はございます。特に北山公園の前を流れている北川で年に1回駆除するんですが、6月に行なった時にかなり大きいブラックバスが捕獲されたり、戦後食用で入ってきたウシガエルですとか、あとアメリカザリガニも実は外来種なのですが、ああいったものはあちこちに見られますけれども、それで大きく在来種が絶滅したということはないと思います。ただ先ほど申し上げたように市内の河川や池では、今ブラックバスの駆除について特に力を入れて進めているところです。

それから植物とかになると私もあまり専門的なことはよくわからないのでなんとも言いようがないのですが、よく雑草で外来種だと言われていますが『背高泡立草<sup>セイタカアワダチソウ</sup>』だとかといったものが生えているところはございます。元々そういったところの植生がどうなっていたのかはわかりませんが、それによって多少は影響を受けている部分もあるのかなというふうに思います。ただ植物系の場合は外来種というより、むしろどんどん市内の緑地が少なくなってしまって、それに伴って緑全体が昔に比べるとかなり減ってきているという全体的な方が問題かなと思っていて、東村山市としては出来るだけ緑地を残すように努力して、一部は公有地化して公園にするとか、あるいは地権者の方にご協力いただいて指定緑地にさせていただいて、極力、緑を住宅開発にしないようお願いしているところです。

## ◆緑地の保全について

(東村山第二中学校 Eさん)

「緑を守っていく」という対策をしていると同ったが、緑を増やしていくようなことは何かやっていますか。

◎ 市長回答 ◎

東村山市は、かつては都市近郊の農村地帯ということで、多くの畑があったり樹林地があったりしたのですが、どんどん宅地化されて今、市域全体ですと17平方キロメートルほどの広さがありますが、今、農地・樹林地を合わせても約200ヘクタール、2平方キロメートルくらいになるんでしょうかね。とにかく非常に面積が小さくなってしまって、Eさんは久米川町にお住まいでしょうか。

諏訪町。

(東村山第二中学校 Eさん)

◎ 市長回答 ◎

諏訪町ですか。だんだん諏訪町の畑や田んぼもなくなってきちゃっているというのは実感されていると思いますが、なかなか緑を守るのも難しい状態です。ただ緑を増やすということについて言うと、

例えばそれなりに大きな道路が出来た場合には、必ず街路樹を植えて緑を増やすというような努力をしています。特に3・4・27号線は『さくら通り』という名前がついているので、桜の木を植えさせていただいています。ただ昨年の台風でだいぶ横になってしまったのですが、少しずつ増やさせていただいたり、諏訪町ですと川沿いの道にハナミズキを植えさせていただいたりということで、増やさせていただいている部分もあります。

それと最終的に緑を守っていくには、樹林地を公有地化するのが一番良いのですが、これもお金のかかることなので今、市として進めているのは北山公園の中にも実は民地がまだあって、あそこを全て早期に公有地化を進めていきたいと考えているのと、あと皆さんの地域からはちょっと違うかもしれませんが、回田小学校の北側にちょっと谷のような地形になったところがあります。住所的には多摩湖町と廻田町のちょうど境目辺りですが、ここについても廻田・多摩湖緑地ということで公有地化を進めて出来るだけ東村山の昔の原風景を残すという取り組みもしています。あと市内でなんとか守っていきたくて思っているのが、別の意味合いもありますが市内で多磨全生園というのが青葉町にあるのはご存知だと思います。ここはハンセン病の療養施設で、かつて国が強制隔離政策という誤った政策を行なって、無理やりあそこに連れて来られた方々が故郷を思いながら自分たちの故郷の木を植えたりして今の全生園の森が出来ていまして、あそこを入所者の皆さんが『人権の森』として将来に亘って残して欲しいという運動をしているのは、ご存知かもしれませんが、市としてもそれに協力して、一緒になって多磨全生園を人権の森として後世に残して、人権の大切さと緑・環境の大切さということを学ぶ場にしていきたいなと考えていますので、ぜひ皆さんにも協力していただけたらいいなと思います。

## ◆学校周辺の安全対策について

(東村山第四中学校 Kさん)

四中では不審者が多く出ることがある。聞いた話だが、学校の中にも不審者が入ったっていう話を聞いたことがあるが、不審者に対する対策はどのようになっているのでしょうか。

### ◎ 市長回答 ◎

私は学校の中まで入り込んだというお話は伺っていませんが、市内各所でほかの世代の方も含めてですが中学生・高校生を狙った不審な行動はけっこう見受けられているのが実情です。何年前には車に連れ込まれそうになったというような事件がありまして、その都度、警察と協議しながら、あるいは各学校で独自にパトロールをしていただいたり、生徒の皆さんには注意喚起を促すというようなことで、これもなかなか抜本的な対策が取りにくい分野なので、地域全体で不審者について目を光らせていくということに尽きるのかなと思います。今、市のほうでは不審者情報については、警察と連携しながら情報をメールで配信させていただくなどの取り組みをさせていただいています。その他は地域の青少対の方々あるいは自治会の皆さんにご協力いただいてパトロールをするというような取り組みをしているところがございます。これ以上の取り組みというのは、どういうことが出来るのか、こちらも今の段階ではなかなか決め手がないので申し訳ないんですけども、「これだ」というところがないのが実情で、地道にそういったことを通じて安全なまちづくりを進めさせていただきたいと考えています。

◎ 防災安全課より ◎

学校、地域の方からの情報や警視庁からのメールを基に、防犯メールを発信しております。また、東村山防犯協会に青パトによる巡回をお願いしております。防犯メールの登録は市のホームページ・くらしの情報＞防犯・防災＞防犯にQRコードが掲載されています。



---

---

～みんなで支え助け合う、健やかにいきいきと暮らせるまち～ について

---

---

◆市全体にエコキャップ運動の普及を

(東村山第三中学校 Tさん)

三中ではエコキャップ運動という取り組みをしてきた。今現在で32万個のキャップが集まり、約400人分のワクチン提供に協力することが出来ている。このエコキャップ運動は誰でも参加することが出来るので、東村山市にこの運動を広めてもらうことは出来ますか。

◎ 市長回答 ◎

三中では長年に亘ってエコキャップ運動を行なっていただいて、本当に感謝しています。うちの子どもはもう卒業してしまったんですが、やはり何となくペットボトルのキャップを捨てられなくて、溜めるんだけど子どもが三中を卒業してしまっているの、うちでもどこに持って行こうかと思う時があって、実は役所でも集めているのでそういうところに持って行ったりしています。今ご提案していただいたお考えはすごくいい事なので、どういったところに拠点をつくって回収出来るかちょっと検討させていただいて、東村山市全体あるいは三中だけでなく各学校にもお願いして、ペットボトルのキャップを集めてそれをワクチン購入の費用に充てていくという運動に、取り組んでいきたいなと思います。ぜひこれからも三中にはがんばって続けていただいて、それをモデルケースにしながら他の学校や地域に広げられるように我々もがんばっていきたいと思います。

◎ ごみ減量推進課より ◎

当市のペットボトル収集につきましては、ボトルの本体をペットボトル、キャップやラベルは容器包装プラスチックとして収集し、それぞれのラインでリサイクルするため、市民の皆さんには排出時の分別にご協力いただいております。キャップのみに特化した収集、流通ラインの構築は困難と判断し、行政主体では行っておりません。現状においては、収集場所を提供する等それぞれの地域や団体の活動を支援しておりますが、今後も市へ場所の提供依頼があった場合には協力していきたいと考えております。

## 【市長まとめ】

あっという間の2時間でございました。中学生、高校生の皆さんとお話をさせていただくというのは、私もいつも楽しみにさせていただいているんですが、非常に真っ向勝負のご意見が多いので、私もどうお答えしたらいいのかと悩むところもあります。ただやはり、皆さんに対して嘘をついたり、あるいは誤魔化すのではなくて、ただ市としてもやれること・やれないことはあるので、そこについてはきちんとお答えしてきたつもりです。どこまでご納得いただけたかわかりませんが、さっき申し上げたように限られた財源、あるいは組織体制の中で、市としてはやはり大事なこと、特に一番大事なことはやはり市民の皆さんの命を守るという観点が我々にとっては一番大事なことなので、そこからだんだんに優先順位を決めさせていただいた中で、今、必要なところには必要な手立てをすることで進めさせていただいています。それともう一つは、守るだけではなくて、これから次の時代を担う若い皆さん方がやはり希望を持って住み続けられるような地域づくりをしていくということも非常に大事なことだと思っています。今日は桜華の方や西高の方は市外の方がほとんどのようですが、縁あって東村山市で勉強されている皆さんが今後また学校を卒業されてもぜひ東村山市となんらかのかたちで関わりを持っていただくと大変ありがたいなと思っています。まさに青春の地として、「東村山で学んでよかったな」と思っていただけるように我々もしていきたいと思っていますし、東村山市内に住んでこれからもこの東村山に住み続けていくであろう中学生の皆さんにとっても「この町に住んでいて良かったな」と思ってもらえるように我々としても頑張っていきたいというふうに思います。

冒頭でも申し上げたように、これからの日本っていうのは非常に重いあるいは暗いそういう影がけっこうあるのも事実です。ご案内の通りこれからますます日本は高齢化が進んで、人口も減少に転じているというような状況ですが、ただやはり若い皆さんが希望を持ち続けられるような地域あるいは国にしていかないと、やはりこのままではまずいなと。恐らく多くの日本人はそういうふうに思っていると思います。皆さんが将来に向けて輝けるようなまちあるいは国づくりを進めていくためにも、皆さん方自身も社会や政治に関心を持っていただいて、自分も一人の市民あるいは国民として出来ることをぜひやっていただけるとありがたいなと。そうしていかないとやはり日本は良くなるまいなと思います。今日せっかく2時間に亘っていろいろ意見交換をさせていただきましたけど、これを契機にして今申し上げたように広い視野で社会を見ていただいて、また純粋な気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきたい。特に受験生の皆さんは受験がんばっていただければと思っています。長時間お付き合いいただきまして、心から感謝を申し上げて閉会の挨拶とさせていただきます。

これからもがんばってください。ありがとうございました。

市民と市長の対話集会  
第58回  
タウンミーティング記録集

発行 平成24年11月  
東村山市役所市民部市民協働課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
Tel. 042 (393) 5111  
(内線2563、2564)